

令和2年亀岡市議会定例会9月議会 一般質問通告書

番号	質問者 質問日時	質問事項	質問要旨	答弁者
1	<p>田中 豊 9月8日(火) 10:00～</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 新型コロナウイルス感染症対応について</p>	<p>新型コロナウイルスの感染拡大が続き、感染は完全に収まっておらず、次の感染の波がいつのよう起きるか予断を許さない。新型コロナウイルス感染症対応について問う。</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症対策で国が配分する3兆円の地方創生臨時交付金について問う。</p> <p>①本市への配分額は。</p> <p>②この財源の本市での用途(事業名と金額)は。</p> <p>③全国知事会は8月25日、47都道府県の不足額が約5千億円に上ることを明らかにしたが、本市では不足額は生じないのか。</p> <p>(2) 日本共産党の志位委員長は去る7月28日、安倍首相に対し、新型コロナウイルス感染症の急拡大を抑止するためにPCR等検査を大規模に拡充することなどを求める緊急の申し入れを行った。「新型コロナウイルスの感染急拡大は、きわめて憂慮すべき事態となっている。感染の急激な拡大が、医療の逼迫(ひっぱく)、さらに医療崩壊を引き起こし、救える命が失われることが、強く懸念される。現在の感染急拡大を抑止するには、PCR等検査を文字通り大規模に実施し、陽性者を隔離・保護するとりくみを行う以外にない」として、次の4点を緊急に申し入れた。</p> <p>①「感染震源地(エピセンター)を明確にし、その地域の住民、事業所の在勤者の全体に対して、PCR等検査を実施すること。現在の感染拡大は、全国でいくつかの感染震源地(エピセンター)―感染者・とくに無症状の感染者が集まり、感染が持続的に集積する地域が形成され、そこから感染が広がることによって起こっていると考えられる。政府として、全国の感染状況を分析し、感染震源地を明確にし、そこに検査能力を集中的に投入して、大規模で網羅的な検査を行い、感染拡大を抑止するべきである。これらの大規模で網羅的な検査を行う目的は、診断目的でなく防疫目的であること、すなわち無症状者を含めて「感染力」のある人を見つけ出して隔離・保護し、感染拡大を抑止し、安全・安心の社会基盤をつくることにあることを明確にしてとりくむ。」に対する所見と本市での対応は。</p> <p>②「地域ごとの感染状態がどうなっているのかの情報を、住民に開示すること。全国をみても、20の政令市のすべてで、市内の地域ご</p>	<p>市長 病院事業管理者 所管部長</p>

		<p>2 桂川舟運歴史体験・展示施設整備について</p>	<p>との検査数、陽性率が明らかにされていない。これではどこが感染震源地なのかを、住民が知ることができない。感染状態の情報開示は、あらゆる感染対策の土台となるものである。」に対する所見と本市の対応は。</p> <p>③「医療機関、介護施設、福祉施設、保育園・幼稚園、学校など、集団感染によるリスクが高い施設に勤務する職員、出入り業者への定期的なPCR等検査を行うこと。必要におうじて、施設利用者全体を対象にした検査を行うこと。感染拡大にともなって、これらの施設の集団感染が全国で発生しており、それを防止することは急務である。」に対する所見と本市の対応は。</p> <p>④「検査によって明らかになった陽性者を、隔離・保護・治療する体制を、緊急につくりあげること。無症状・軽症の陽性者を隔離・保護するための宿泊療養施設の確保を緊急に行う。自宅待機を余儀なくされる場合には、生活物資を届け、体調管理を行う体制をつくる。中等症・重症のコロナ患者を受け入れる病床の確保を行う。新型コロナの影響による医療機関の減収補償は急務である。減収によって、医療従事者の待遇が悪化するなどは絶対に許されない。医療従事者の処遇改善、危険手当の支給、心身のケアのために、思い切った財政的支援を政府の責任で行うことを強く求める。もはや一刻も猶予はならない。日本のPCR検査の人口比での実施数は、世界で159位であり、この異常な遅れは、どんな言い訳も通用するものではない。政府が、自治体、大学、研究機関、民間の検査会社など、あらゆる検査能力を総動員し、すみやかに行動することを強く求める。」に対する所見と本市の対応は。</p> <p>⑤亀岡市議会共産党議員団は、7月29日に「新型コロナウイルス感染症対策に関する緊急申し入れ」を行ったが、これに対する所見と本市の対応は。</p> <p>(3) 市役所内の環境について問う。</p> <p>①3密の定義は。</p> <p>②3密の定義から、市役所内の状況はどうか。</p> <p>③職員の感染を防止するために改善する必要があるのではないか。</p> <p>過日の産業建設常任委員会で、桂川舟運歴史体験・展示施設整備に関し、亀岡市が京都府に10項目の要望書を6月に提出したこととあわせ、8月8日に京都府と亀岡市で協議する旨の報告があった。</p> <p>(1) この10項目の要望に対する京都府の対応は。</p>	<p>市長 所管部長</p>
--	--	------------------------------	--	--------------------

		3 2020年産米価について	<p>市内でも米の収穫が始まったが、米価下落の不安が広がっており、次の点について問う。</p> <p>(1) 今年の米価の見通しは。</p> <p>(2) 下落の要因は。</p> <p>(3) 価格や需給安定のために、政府備蓄米の買上げを大幅に増やすなど抜本的な対策が必要と考えるがどうか。</p>	市長 所管部長
2	富谷加都子 9月8日(火) 10:45~ ※一問一答	1 保育所(園)での紙おむつ処分について	<p>現在、乳幼児の使用済み紙おむつは、基本的には持帰りであるが、今後、新しい生活様式において、感染リスクのあるものは排除すべきであると考え。さらに、園処理により子育て支援や保育士の負担軽減につながると考える。</p> <p>(1) 国のガイドラインでは、使用済み紙おむつの処分は、自治体の判断に委ねられているが、持帰りにしている根拠は。</p> <p>(2) 使用済み紙おむつについて、保育士の一連の作業とは。</p> <p>(3) 使用済み紙おむつを園処理にしたときに、公立8園として、毎日回収したときと週3回収したときに係る、それぞれの年間経費の概算は。</p> <p>(4) 紙おむつの処分について、保護者や保育士へのニーズ調査を実施する考えは。</p> <p>(5) 衛生面や保育士、保護者負担軽減を考慮し、今後、園処理に転換する考えは。</p>	市長 所管部長
		2 介護人材確保・定着について	<p>厚生労働省の発表した需給推計によると2025年には、介護職員が約38万人不足すると見込まれており、本市の介護現場でも、人材確保に苦慮されている。</p> <p>(1) 本市における介護現場の人材について、どのような認識か。</p> <p>(2) 介護人材確保・定着への取組みの現状は。</p> <p>(3) 資格取得補助等の取組みは、人材確保・定着に有効であると考え、本市でも導入する考えはあるのか。</p>	市長 所管部長
		3 重層的支援体制整備事業について	<p>厚生労働省より、地域共生社会の実現に向け、地域住民の複雑化・複合化したニーズに対応する包括的な支援体制を構築するため、相談支援、参加支援、地域づくりに向けた支援を一体的に実施する「重層的支援体制整備事業」が創設された。新しい生活様式の中において、人と人のつながりが最重要であり、時にかなったつながりを再構築する事業であると確信している。</p> <p>(1) 断らない相談支援として、地域福祉課の窓口福祉なんでも相談窓口が新設された。既存の窓口と比べ、相談内容はどうか。(複合的な相談の可否)</p> <p>(2) 新設の断らない相談窓口を有効的に機能させるためには、支援体制が必須である。本市の現状について、認識と支援体制の考えは。</p>	市長 所管部長

			<p>(3) 重層的支援体制整備事業について、本市としてどのような検討を行い、どのような課題を認識したのか。</p> <p>(4) コロナ禍の中で地域づくりに向けた支援の通いの場や、見守り支援等の実施が困難となり、再開支援として社会福祉法人やNPO法人等が、失職者や地域住民などを雇い入れ、研修を行った上で「つながり推進員」として、既存のつながりを再構築し、雇用創出できる事業があるが、検討されたのか。</p>	
3	<p>浅田 晴彦 9月8日(火) 11:30~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 防災、減災に向けた取組みについて</p> <p>2 平の沢池の現状について</p> <p>3 主要地方道亀岡園部線(千歳北工区)について</p> <p>4 公共交通環境が整っていない地域について</p> <p>5 「和らぎの道」の延伸計画について</p>	<p>防災、減災に向けた取組みについて問う。</p> <p>(1) 亀岡市地域防災計画の避難所開設マニュアルにより実施された、新型コロナウイルス感染症防止対策を踏まえた避難所開設訓練の成果(よかった点)は。</p> <p>(2) 避難所開設訓練の今後(改善点)は。</p> <p>(3) 市内各避難所へ仮設スロープ(2枚)を整備することはできないか。</p> <p>(4) 今後も避難所開設訓練を進化させた計画により、防災訓練等を実施していくのか。</p> <p>(5) 防災情報に合わせ、迅速な避難所開設が重要になるが、市として時間短縮の取組みはどのように考えているのか。</p> <p>平の沢池の現状について問う。</p> <p>(1) 平の沢池(上池、中池、下池)の展望台の老朽化が進み、立入禁止状態となっている。多くの人を訪れる場所であり、学校の通学路にもなっている。3カ所ある展望台の修繕計画はどのようになっているのか。</p> <p>主要地方道亀岡園部線(千歳北工区)について問う。</p> <p>(1) 主要地方道亀岡園部線(千歳北工区)について、通学路にもなっている江島里北から亀岡川東学園までの必要箇所、安全を確保するため市の街路灯を設置する考えは。</p> <p>公共交通環境が整っていない地域について問う。</p> <p>(1) 現在、旭町では高齢者や移動が困難な住民に対して、送迎組織をつくる方向で計画を進められているが、市として支援していく考えは。</p> <p>「和らぎの道」の延伸計画について問う。</p> <p>(1) 河原林町の七谷川沿いにある「和らぎの道」の延伸は、今後も計画的に整備工事を進めていくのか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
4	<p>木曾 利廣 9月8日(火)</p>	<p>1 市長の政治姿勢について</p>	<p>第4次亀岡市総合計画の総括と第5次亀岡市総合計画の柱となるべき事業目的について問う。</p>	<p>市長 所管部長</p>

<p>13:15～</p> <p>※一問一答</p>	<p>2 災害対策について</p> <p>3 経済対策について</p> <p>4 環境対策について</p>	<p>(1) 第4次亀岡市総合計画での目標想定人口である10万人計画の総括と、第5次亀岡市総合計画の想定人口規模は。</p> <p>(2) 今後の本市まちづくりの柱となる事業は。</p> <p>(3) 今後の事業実施に当たっては、国、府の財政支援確保と自主財源の確保が重要であると考え、見通しは。</p> <p>(4) 本市として、頻発する自然災害への対策、感染症対策、急速に進む高齢者対策等の備えは。</p> <p>6月議会で避難所を開設する場合の感染症対策について質問した。場所、換気、トイレ、間仕切り、消毒液、マスク、石けん等の感染症対策と避難訓練の実施について問う。</p> <p>(1) 避難訓練で得られたものは。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の自粛要請以降、現在までの経済対策について問う。</p> <p>(1) 経済対策第一弾、市内飲食店でのテイクアウトなどで利用できる、割引クーポン券発行事業や市内観光業を支援する事業、4,500万円の効果と検証は。</p> <p>(2) 経済対策第二弾、市内小売店や飲食店で利用できる割引クーポン券発行事業、3,683万円の効果と検証は。</p> <p>(3) 経済対策第三弾、自治会加入世帯に限る、市内飲食店や小売店で利用できる「かめおか商業応援クーポン券」1億2,400万円の補正予算案の内容は。</p> <p>環境対策について問う。</p> <p>(1) 亀岡商工会議所から議会宛てに、新型コロナ対策に鑑み、「レジ袋提供禁止条例」の施行期日延長の申入れがあるが、今後どのように対応するのか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
<p>5</p> <p>三上 泉 9月8日(火) 14:00～</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 SDGsを基軸とした第5次亀岡市総合計画について</p>	<p>亀岡市はSDGs(持続可能な開発目標)推進都市として国の選定を受けた。これから策定される第5次亀岡市総合計画は、このSDGsの目標(17項目、169のターゲット)を2030年までに達成するよう、それぞれについて網羅的に関連付けて策定する必要がある。</p> <p>(1) 第5次亀岡市総合計画策定については、SDGsの17項目に沿って、それぞれの項目との整合性をもって検討しているのか。</p> <p>(2) SDGsの目標達成に向けた、所管部の枠を超えた横断的な市の組織をどのように機能させるのか。</p> <p>(3) SDGsについての市民の認知度を踏まえて、周知・理解、市民参画を進めるための手立てをどのように考えているのか。</p> <p>(4) 市の組織構成を見ると、「かめおか霧の芸</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>2 市の公共施設における感染防止対策について</p> <p>3 2学期からの学校教育について</p> <p>4 子どもの遊び場、市民のスポーツ・憩いの場について</p>	<p>術祭」実行委員会は、あくまで協力・協働できる外郭団体としての位置づけであるが、それで間違いはないか。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染の拡がりは、収束の見通しがいまだ立たず、終息にはかなりの時間を要すると考えられる。市は、市民の命と健康を守るために万全を期さなくてはならない。</p> <p>(1) 市民が利用する市内公共施設での感染予防対策はどのようになされているのか。</p> <p>(2) 施設を利用する市民には、定員よりも少ない人数での利用を求めているが、その割合と根拠は。</p> <p>(3) 万が一、施設利用者同士で感染が拡がった場合、どのような対応をしていくのか。</p> <p>かつて経験したことがない8月18日からの2学期スタートで、児童生徒の心身における影響は少なからずあるものとする。6月議会一般質問で確認した、子どもたちの状況の把握、心身の健康を最優先にした対応、きめ細かい相談体制、追い込まない指導、受験などへの配慮などをもとに問う。</p> <p>(1) 熱中症をはじめ体調不良、心のストレスなど、児童生徒の状況把握と対応は万全にされているのか。</p> <p>(2) 各学校で、昼休みを使った学習指導、7時間授業、土曜日授業などが計画されていると聞くが、保護者からは多くの不安や疑問の声が出されている。また、実際に子どもたちに聞き取っても、疲れ、不安、ストレスを感じている様子がうかがえるが、少し行き過ぎていないか。</p> <p>(3) 文部科学省や京都府教育委員会が打ち出している、授業内容については、次年度以降への持ち越しや、支障のないような効果的な形で内容精選などをもっと行うべきではないか。</p> <p>(4) 市の公共施設が行っている、市民の生命と健康を守るための施設利用人数制限の根拠に照らした場合、学校の教室に入れる人数はどの程度になるか。</p> <p>(5) 国の責任で一刻も早く少人数学級が実施されるよう、また、それに係る教室や校舎、学校の増設などについても国が責任を持って支援するよう、あらゆる場面・機会を通じて声をあげていくべきではないか。</p> <p>コロナ後の社会は一極集中型ではなく分散型の形態がより重視されると考える。3月議会でも取り上げたが、人口密集地域での子どもの遊び場は、必要であり、子どもたちや保護者、地域からの要望も強い。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 教育長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
--	--	---	--	--

			<p>(1) 3月議会で市長が答弁した、子どもの遊び場、公園、遊具等の設置計画についての進捗状況は。</p> <p>(2) 次期総合計画では、子どもの遊び場だけでなく、公園、スポーツ施設、若者のニュースポーツや音楽・芸術等の活動の場、高齢者の憩いの場など、屋内外のスペースを増やすよう盛り込むべきではないか。</p> <p>(3) 以下に掲げる市内スポーツ施設の市民の要望に対する考えは。</p> <p>① 亀岡運動公園陸上競技場の公認の継続と整備は。</p> <p>② テニスコートの利用時間単位を2時間から1時間にしてはどうか。</p> <p>③ 亀岡高校生の部活に伴う、春日坂球技場の部活動時間に限った冬季ナイターの使用は。</p>	
6	<p>山本由美子 9月8日(火) 14:45~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 防災減災対策について</p> <p>2 認知症対策について</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、今年7月、九州から東海にかけて豪雨災害が発生し、本市においても土砂崩れ等による災害が発生した。避難所では、新型コロナウイルス感染症対策の徹底が求められている。</p> <p>(1) 民有地における土砂災害への対応と考えは。</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染症対策を講じた避難所開設・運営訓練の成果及び課題は。</p> <p>(3) 備蓄品の拡充と分散備蓄の進捗状況は。</p> <p>令和元年6月、認知症対策を強化するため、国において「認知症施策推進大綱」がとりまとめられ、認知症になっても住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられる「共生」を目指し、「認知症バリアフリー」の取組みを進めていくとともに、「共生」の基盤の下、通いの場の拡大など「予防」の取組みが求められている。</p> <p>(1) 認知症サポーター養成講座及びステップアップ講座、企業・職域型の認知症サポーター養成講座の現状は。(開催数、養成数、活動等)</p> <p>(2) 認知症の予防をめぐるっては、運動不足の改善や生活習慣病の予防、社会的孤立の解消、役割の保持等により、発症を遅らせる可能性があるとして、通いの場への参加を促すことが求められているが、本市の取組みは。</p> <p>(3) 認知症初期集中支援チームが医療・介護につながった実績と周知の取組みは。</p> <p>(4) チームオレンジの体制整備に向けて、本市の現状と今後の方向性は。</p> <p>(5) 認知症等高齢者の事前登録制度に登録した方にはQRコード付き名札が配布されているが、実績と課題は。</p> <p>(6) 認知症になっても安心して暮らせるまちを目指し、民間保険を使った事故救済制度を導</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>3 新生児聴覚検査について</p> <p>4 新型コロナウイルス感染症対策における市独自支援策について</p>	<p>入する自治体が増えているが、本市においても個人賠償責任保険制度を導入する考えは。</p> <p>生まれつき聴覚に障がいのある先天性難聴は1,000人に1~2人とされ、早期に発見して適切な療育を受ければ、言葉の発達への影響を最小限に抑えることができる。そのことから早期発見・早期療育を図るため、全ての新生児を対象として新生児聴覚検査を実施することが重要である。</p> <p>(1) 本市における新生児聴覚検査の実施状況は。(出生数、受診者数、受診率、検査を実施できる医療機関)</p> <p>(2) 各児の受診状況及び検査結果について、どのように把握されているのか。</p> <p>(3) 検査の未受診の理由と未受診児への対応は。</p> <p>(4) 検査についての周知啓発の取組みは。</p> <p>(5) 検査費用の公費負担について、府内の他自治体の状況及び本市の考えは。</p> <p>(6) 要支援児とその保護者にどのような指導援助を行っているのか。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響が社会全体に及び長期化する中で、新しい生活様式の定着が求められている。こうした状況を踏まえ、本市においては、どこまでも市民に寄り添い、安心につながる新型コロナウイルス感染症対策として独自の支援を行っている。</p> <p>(1) 令和2年6月議会において、コロナ禍で不安を抱えながら出産を迎え、これからの子育てを応援するため、国の特別定額給付金の基準日の翌日4月28日以降に生まれた新生児を対象とする本市独自の特別定額給付金の支給を求めていたが、どのように検討されたのか。</p> <p>(2) 就学援助制度の認定基準について、対象外とされている世帯でも、今回新型コロナウイルス感染症の影響によって収入が激減している世帯に対して、年度途中でも速やかに認定するなど柔軟に対応し、拡充を図る考えは。</p> <p>(3) 新型コロナウイルス感染症対策における新しい生活様式の一環として、利用者に安心していただくよう、衛生的な図書を提供するため、亀岡市立図書館に書籍除菌機を導入すべきと考えるが見解は。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 教育長 所管部長</p>
7	<p>小川 克己 9月9日(水) 10:00~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 千代川町のまちづくりについて</p>	<p>千代川町内では、桂川舟運歴史体験・展示施設(川の駅)が完成し、高野林・小林土地区画整理事業では新たな道が造られ住宅が建ち、着実に新たなにぎわいのまちができようとしている。</p> <p>(1) 亀岡市の北の玄関口、公共交通の拠点とし</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>2 亀岡のまちづくりについて</p>	<p>て、今後ますます利用する方が増えるであろうJR千代川駅の周辺整備について問う。</p> <p>①亀岡市バリアフリー基本構想(千代川駅周辺地区)の進捗状況は。</p> <p>②駅西側のスロープが完成し、東側ホーム進入スロープ整備を、現在、進めていただいている。跨線橋を利用できない方の、東西のホーム間移動についての考え方と、JR西日本との協議の状況は。</p> <p>③今後のJR千代川駅東西自由通路の基本的な考え方、スケジュール、財源確保は。</p> <p>(2)高野林・小林土地区画整理事業関連について問う。</p> <p>①住宅地に住んでいる方もあるが、今後、町名町界確定はどのような手順で進められるのか。</p> <p>②高野林・小林土地区画整理事業の進捗は。また、国営緊急農地再編整備事業「亀岡中部地区」桂川西工区の事業完成時期との整合性は。</p> <p>③地区内道路と隣接地区との市道接続の予定と安全対策は。</p> <p>本年はターゲットイヤーと言われた年であるが、コロナ禍の年となり、感染症拡大防止対策のために様々な事業が縮小となっている。今後、一層少子高齢化が進む中、持続可能なぎわいづくり、行政運営、亀岡のまちづくりについて問う。</p> <p>(1)第4次亀岡市総合計画は、本年度が最終年度となったが、振り返り、成果としてはどうであったか。検証はどのように行ってきたのか。</p> <p>(2)亀岡の未来ビジョンを描く第5次亀岡市総合計画の策定について、次の点を問う。</p> <p>①本市10年後へ、未来への懸け橋となる第5次亀岡市総合計画基本構想の目的と、描く都市像とは。</p> <p>②どのようなことを重点テーマとして考えているのか。</p> <p>③かめおか霧の芸術祭を盛り込んでいるのか。</p> <p>(3)かめおか霧の芸術祭××について問う。</p> <p>①方向性や事業実施の意思決定はどこが行っているのか。</p> <p>②かめおか霧の芸術祭実行委員会及びスタッフと事務局(行政)との関係(役割分担)は。</p> <p>③既存の文化、生涯学習、農業、工業等とかめおか霧の芸術祭との関係は。目的の方向性とゴールは。</p> <p>④リーディング事業と位置づけ、また、目的を発信し達成するためには、行政も庁内横断的な、観光・商工業・農業・生涯学習・環境が一つとなった部署が必要ではないのか。</p> <p>(4)豊かな学びと文化を育み誇れるまちとして</p>	<p>市長 所管部長</p>
--	--	-----------------------	---	--------------------

			り、中・上級者用と初心者用に分けているパークもあるが、見解は。	
9	並河 愛子 9月9日(水) 11:30~ ※一問一答	1 かめおかプラスチックごみゼロ宣言について	<p>本市は世界最先端の「環境先進都市・亀岡を目指して～かめおかプラスチックごみゼロ宣言を2018年12月に行い2030年までに使い捨てプラスチックごみゼロのまちを目指します。」とうたっている。また、本年3月議会において「亀岡市プラスチック製レジ袋の提供禁止に関する条例」が制定された。2030年に向けて今後の取組を問う。</p> <p>(1) 3月議会において、我が党議員の質問に対して「プラごみゼロを目指すタイムスケジュールをつくっているわけではない」と答弁いただいたが、その後の取組はどうか。</p> <p>(2) 保津峡に漂着したごみとしてレジ袋やマルチシート等、これまでの調査で多種多様なシート類が漂着しているが、近隣市町への呼びかけ等はどうか。</p> <p>(3) 市民への啓発、説明はどうか。</p> <p>(4) プラスチック等の製作の責任を国や企業にどう働きかけていくのか。企業の自販機設置についてはどのように考えているのか。</p>	市長 所管部長
		2 介護保険制度について	<p>安心して介護が受けられるように誰もが願うところである。保険あって介護なしでは本来の主旨から外れてしまい、負担が増えれば介護を受けるのをやめてしまう現実もある。厚生労働省が、新型コロナウイルス感染症拡大による減収対策として介護保険のデイサービスやショートステイ事業者に介護報酬の上乗せを認める「特例措置」を通知したが、算定すると利用者に筋違いの負担増が強いられるため撤回を求める声が上がっている。</p> <p>(1) このことに対する所見は。</p> <p>(2) 市内事業所の実態把握はされているのか。</p> <p>(3) 「特例措置」を算定しない事業者に対する市独自の補助金の交付の考えはどうか。</p> <p>令和3年度から第8期介護保険制度がスタートする。国の基本指針(本年7月)が出され、本市においても第8期介護保険制度に向けた作業が進められている。</p> <p>(4) 第8期亀岡市介護保険事業計画の策定に向けた国の基本指針の受止めと第8期亀岡市介護保険事業の強化点はどうか。</p> <p>(5) 「亀岡市いきいき長寿プラン」の策定を行うためアンケート調査をされているが、特徴はどうか。</p> <p>(6) 地域包括支援センターが現在6カ所で運営されているが今後さらに拡充の方向か。</p>	市長 所管部長
		3 生活保護行政について	<p>生活保護制度は年々保護費削減が行われ、健康で文化的な生活とは言い難い。2013年8月か</p>	市長 所管部長

		<p>4 市営住宅の管理について</p>	<p>ら生活保護基準が引き下げられたときは、平均6.5%、最大10%の前例を見ない大幅な引下げとなった。その中で96%の生活保護世帯が減額されるという幅広い層に影響を与えた。2015年には住宅扶助基準と冬季加算が引き下げられ、2018年には再度生活保護基準が引き下げられている。保護費の引上げが求められる。今年の夏は例年と比較しても高温の日が続き熱中症が心配される。室内の温度が37度、40度になり「クーラーなしでいられない。」との声も寄せられている。</p> <p>(1)クーラー電気代の支援として夏季加算を求める声は強い。本市で夏季加算を実施するとすれば、どれくらいの経費がかかるのか。</p> <p>(2) 実施の考えはどうか。</p> <p>市営住宅入居を希望される市民は多いが、倍率が高くなかなか入居できないのが実態である。</p> <p>(1) 入居状況について問う。</p> <p>①現在の特定目的住宅も併せた個数、空き状態はどうか。</p> <p>②過去3年間における募集件数、倍率はどうか。</p> <p>③今後新たな建設計画はどうか。</p> <p>(2) 東つつじヶ丘市営住宅において改善を求める住民の声がある。現状について問う。</p> <p>①市と管理組合との関係、位置づけはどうか。要望を聞く制度はあるのか。</p> <p>②A棟はB棟と比較して雨の日や雪が降った時は廊下が滑りやすく危険である。改善すべきではないか。</p> <p>③建設以来数年にわたりA棟の高い所から自死される方がいるが、現場の確認をされているのか。また、対策を打つべきではないか。</p> <p>④防犯カメラ設置の要望がある。これまで役員の要望に「管理組合でしてください。」とのことであるが、市としての責務はないのか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
<p>10</p>	<p>藤本 弘 9月9日(水) 13:15~ ※一問一答</p>	<p>1 コロナ禍における経済復興と観光振興について</p>	<p>コロナ禍において、ワクチンが完成しないまま感染拡大が続いている。その結果、日常生活や経済活動にも大きく影響を来している。</p> <p>(1) 亀岡市の経済対策について問う。</p> <p>コロナ禍の影響で商店街や飲食店では大きく売上げが減少している。その対策として2回のクーポン券が配られた。</p> <p>①「うちメシクーポン」について、2,000円以上の弁当等をテイクアウトすると1,000円が割引きとなるクーポン券が、各世帯に配布された。使用状況と経済効果はどうだったのか。</p> <p>②「そとメシクーポン」について、第二弾として、亀岡市内の契約店で2,000円以上の食事をすると1,000円が割引きとなるク</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>2 ふるさと納税20億円を目指した取組みについて</p>	<p>ーポン券が、各世帯に配布された。使用期限が9月末までとなっているが、使用状況と経済効果はどうか。</p> <p>(2) 亀岡三大観光の復興状況について問う。亀岡市の三大観光も団体客のキャンセルが相次ぎ、大きなダメージを受けている。</p> <p>①湯の花温泉観光旅館協同組合では、市民を対象に5,000円以上の食事をすれば2,500円の割引、京都府民を対象に5,000円以上の宿泊料金に対し2,500円の割引をされたが、その効果はどうだったのか。</p> <p>②保津川遊船企業組合では、大人1人4,100円のところ、コロナ割引で半額の2,050円とされたが、その経済効果はどうだったのか。</p> <p>③トロッコ列車(嵯峨野観光鉄道)についても、何か手は打たれていたのか。</p> <p>(3) 今後のさらなる経済復興対策について問う。商工業対策として、企業・個人事業者を対象にこの8月31日までガレリアかめおかで、家賃支援給付金、持続化給付金の相談窓口が開設されていた。利用者からは、大変親切に対応していただき、助かったとの声が寄せられている。</p> <p>また、国においても、雇用調整助成金の特例措置を9月末までとしていたが、現行の助成率や上限額のまま、12月まで延長している。</p> <p>①亀岡市においても、さらなる経済復興対策をどのように打とうと考えているか。(5,000円クーポン券の配布等)</p> <p>(4) 麒麟がくる 京都亀岡大河ドラマ館の復活対策について問う。</p> <p>この8月30日より、NHKの大河ドラマ「麒麟がくる」が再開された。当初入館者目標を50万人としていたが、新型コロナウイルスの影響で8月4日現在の入館者が45,162人となっている。そこで、来年の2月7日までの入館者目標を15万人と変更された。</p> <p>①今後の誘客計画、戦略はどのように考えるか。</p> <p>②ふるさと納税を活用したクラウドファンディングも8月20日で寄附目標の1,000万円を達成された。今後の目標と取組みは。</p> <p>去年は、担当課の努力のかいもあって、11億142万円と初めて10億円を突破した。今年度は20億円を目指すとなっているが、取組みについて問う。</p> <p>(1) 新しいサイトを増やして、目標に挑戦されていると聞かすが、新しいサイトとはどこか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
--	--	---------------------------------	--	--------------------

		<p>3 国道9号のダブルルートの促進について</p>	<p>また、従来のサイトはどこで、いくつのサイトになるか。</p> <p>(2) 新しいサイトを増やした反響はどうか。</p> <p>(3) 返礼品の充実に、新たな品目を追加されていると聞くが、どのような品目が増えたのか。また、その反響はどうか。</p> <p>(4) ふるさと納税の状況は、前年と比べコロナ禍で大変とは思いますが、現在の状況はどうか。</p> <p>(5) 20億円を目指し、特に工夫している点、力を入れている点は何か。</p> <p>(6) 20億円を目指しての今年度の見込みはどうか。</p> <p>今後、国道9号のダブルルートの促進が、サンガスタジアムbyKYOCERAの利便性や亀岡観光の発展にも大きく影響してくるので、質問する。</p> <p>(1) 国道9号のダブルルート検討委員会の実施計画はどのようになっているのか。</p> <p>(2) 国道9号のダブルルートは、京都府の広域道路整備網の計画に入っているのか。</p> <p>(3) 入っているとしたらどのルートが入っているのか。</p> <p>(4) 今後の促進にあたって、国も「防災・減災・国土強靱化計画」を進めているが、地元もしっかりとルートを検討し、国や府へ要望活動を行うべきではないかと思うが、どのように考えるか。</p>	<p>市長</p>
		<p>4 北陸新幹線の閣議決定されたと言われている元のルートへ見直す要望活動について</p>	<p>去る8月20日に北陸新幹線の沿線都府県で構成する建設促進同盟会の大会が、東京都内のホテルで開催された。東京・金沢間で運行されている北陸新幹線は、2023年春には福井県敦賀市まで開通の予定である。</p> <p>京都府を通る敦賀・新大阪間では、現在、地下水への影響等、環境への影響評価が行われている。京都市の地下を通すとなると、リニア中央新幹線の工事の際、静岡県で「工事で大井川の水の流量が減るのではないかと心配する意見があったが、その二の舞になるのではないかとこの声も出ている。</p> <p>(1) 今こそ、亀岡市として京都府へ、地下水への徹底した影響調査と、かつて谷口市長の時、閣議決定までされたと言われている元のルートの再検討を要望すべきではないかと思うが、考えは。</p>	<p>市長</p>
		<p>5 「亀岡のおいしい水」を生かした給水器の設置について</p>	<p>現在、市庁舎1階のトイレの入り口と、ギャラリーかめおか1階図書館横のトイレの入り口に給水器が設置してあるが、庁舎の給水器はなまぬるい。ギャラリーかめおかの給水器はコロナで使用禁止となっている。ともに、建物が建てられたときに設置されたものと聞く。</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>6 JR4駅の「喫煙所」設置について</p>	<p>(1) マイボトルに、冷えた「亀岡のおいしい水」が給水できる、新しい機種に更新する考えはないか。</p> <p>(2) JR亀岡駅北広場や亀岡運動公園等に、マイボトルに冷えた「亀岡のおいしい水」を給水できる給水施設を設置する考えはないか。</p> <p>(3) 現在の上下水道庁舎も、再来年には新しい庁舎に移転する。新しい上下水道庁舎の入り口に「亀岡のおいしい水」の給水所を設置してはどうか。</p> <p>来年1月1日より「プラスチック製レジ袋の提供禁止に関する条例」が施行される。また「ポイ捨て等禁止条例」の罰則規定も4月1日には施行される。そういった中で、市民からは喫煙所はどうなるのかとの問合せもある。</p> <p>(1) JR亀岡駅南口の喫煙所の設置は、予算も計上され、繰り越しとなっているが、いつ、どの場所に設置されるのか。</p> <p>(2) JR馬堀駅の喫煙所も撤去されたままになっているが、いつ、どの場所に設置される予定か。</p> <p>(3) JR並河駅、千代川駅については喫煙所の設置はどのようになっているのか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
11	<p>西口 純生 9月9日(水) 14:00~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 財政の見通しについて</p> <p>2 防災・減災について</p> <p>3 観光振興について</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、経済の悪化に伴う次年度の税収及び財政状況の見通しについて問う。</p> <p>(1) 次年度の税収見通しは、どのような影響を受けるのか。</p> <p>(2) 厳しい財政環境での財源不足の対応策は。</p> <p>自然災害時に、確実に安全な場所へ避難ができるための対策及び河川整備促進の見通しについて問う。</p> <p>(1) 全国的に、災害時の逃げ遅れで、犠牲者が多く出たことが問題になっているが、亀岡市でも、もっと効果的で分かりやすい避難指示を出すことはできないのか。</p> <p>(2) 愛宕谷川上流の谷山池決壊を想定した水の流れを知るシミュレーションの映像化で、谷山池決壊による安全な避難場所の判断が必要ではないのか。</p> <p>(3) 本年度から霞堤1m嵩上げが着手される予定である。嵩上げごとの浸水シミュレーションの作成で、浸水範囲の状況を市民に示すべきであるが見解は。</p> <p>(4) 本年度の桂川本川・支川の堆積土砂撤去の計画は。</p> <p>(5) 今年度の国・府への要望活動の見通しは。</p> <p>コロナで観光振興のにぎわい創出が遅れている状況にあるが、今後の見通しについて問う。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>4 コウノトリの育成について</p> <p>5 環境衛生について</p> <p>6 健康福祉について</p> <p>7 学校教育について</p> <p>8 デジタルトランスフォーメーションについて</p>	<p>(1) G o T o キャンペーンの市内での効果とその影響は。</p> <p>(2) 観光入込み客数は、昨年のこの時期と比較してどうなのか。また、正常化に向けた今後の対策は。</p> <p>コウノトリの育成について問う。</p> <p>(1) 今年もコウノトリの飛来が確認されたが、共生のための餌場の確保と繁殖のための巣塔をつくる考えはないのか。</p> <p>コロナの影響で、家庭内の不用品の整理で埋立てごみが増えている。</p> <p>(1) 埋立てごみの増加について、コロナの影響により、どのような変化があったのか。</p> <p>(2) 埋立処分場延命のためには、分別収集の現状を見れば、今後の対策について見直す必要性があると思うがどうか。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響による、市民の健康状態の現状の把握について問う。</p> <p>(1) コロナ感染症の陽性者数は、人口比率から見て、どのように認識されているのか。</p> <p>(2) 今までのコロナ感染症対策や支援策の状況を見て、市民への支援策の不足分は何か。また、今後の支援策は。</p> <p>コロナの影響による教育について問う。</p> <p>(1) 小・中学校教育の遅れを取り戻す対応は。</p> <p>(2) 市内の長期に休学している子どもの状況は。</p> <p>(3) スポーツクラブ活動の状況について、活動環境への十分な配慮が必要であると考えるがどうか。</p> <p>デジタルトランスフォーメーションについて問う。</p> <p>(1) デジタル化の多様性の中で、行政サービスのオンライン化に向け、大手企業は連携し、自治体にもつなぐとあるが、どのような行政サービスが期待できるのか。</p> <p>(2) 今後の地方自治におけるデジタル化の多様性については、必要不可欠であると思われるが所見は。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>教育長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
12	<p>木村 勲 9月9日(水) 14:45~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 ジャンボタニシの被害状況と今後の対策について</p>	<p>近年、西日本を中心に大量発生しているジャンボタニシは、本市でも多くの被害が出ていると聞く。今年7月に農林水産省が水稻病虫害防除対策全国協議会を設置されたが本市の対応について問う。</p> <p>(1) 本市の発生状況及び被害状況と被害額はどのように把握できているのか。</p> <p>(2) 農林水産省からの指導指示はあるのか。ま</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>2 国道9号ダブルルートの計画及び進捗状況について</p> <p>3 都市計画道路並河亀岡停車場線の計画及び進捗状況について</p> <p>4 コウノトリの今後の保護活動について</p>	<p>た、連携はどうなっているのか。</p> <p>(3) 今後、本市として駆除に対する対策補助金の考えはあるのか。</p> <p>今年の7月豪雨により京都縦貫自動車道沓掛インターチェンジ近くで土砂崩れが起き、車3台が土砂に押し流される事故が発生し、復旧応急工事がなされ、13日午後には閉鎖解除となったが、14日の大雨で再び一時閉鎖され、その間は国道9号が大渋滞となった。ダブルルートの早期実現に向けて計画は進んでいるのか問う。</p> <p>(1) 第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～の中に都市基盤の整備とあるが、今回の事故を受けてダブルルートの早期実現をどのように考えるか。</p> <p>(2) ダブルルートは大きく分けて2つのルートになるが、2つのルートの計画内容と早期実現に向けての本市の意向は。</p> <p>(3) 本市、南丹市、京丹波町の首長及び議員で構成されている国道9号ダブルルート整備促進協議会での取組み状況は。</p> <p>都市計画道路並河亀岡停車場線の南丹都市計画事業大井町南部土地区画整理事業における道路整備はほぼ完成しており、並河坂井地区の住居立退きと犬飼川にかかる新橋の設計計画及び進捗状況について問う。</p> <p>(1) 並河坂井地区他の立退き交渉の状況は。また、立退き後の道路の完成はいつ頃の予定なのか。</p> <p>(2) 犬飼川にかかる新橋の完成予定はいつか。</p> <p>(3) 犬飼川にかかる新橋を先に完成させて、並河坂井地区の踏切手前の市道から橋に通す構想は可能であるのか。</p> <p>(4) 完成時には、府道王子並河線は市道になる予定はあるのか。また、市道になった場合、ゾーン30にできるのか。</p> <p>今年は昨年より1カ月早く7羽のコウノトリが飛来した。そのうちの5羽は昨年も飛来したコウノトリと聞く。また、今年は旭町だけでなく、蕨田野町にも飛来して行動範囲を広げている。本市の支援について問う。</p> <p>(1) 今年度の本市独自のコウノトリ支援についてはどう考えるか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
13	<p>長澤 満 9月9日(水) 15:45～</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 プラスチック製レジ袋提供禁止条例の施行について</p>	<p>本市のプラスチック製レジ袋の提供禁止に関する条例は、いよいよ来年1月施行予定である。本条例の議決に係る附帯決議の趣旨を踏まえて、予定通り施行することは適当か、その条件は整っているかを見極めることは、本議会と執行部の共通の責務であると考え。</p> <p>(1) エコバッグの普及促進について、国による</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>2 新型コロナウイルス感染症対策に係る保健所との連携について</p>	<p>レジ袋有料化（本年7月実施）の影響、片や衛生面の関心の高まり等を含め、現状をどう評価し、今後の課題をどう考えるのか。</p> <p>(2) 代替紙袋の準備は、事業者の要望にも対応しながら進められている。その補助事業の実施期間の延長、個別購入の紙袋の補助の拡大等の配慮をなお検討すべきではないのか。</p> <p>(3) 市民や事業者の理解が進む半面、コロナ禍の影響等からなお不安も残る状況を勘案し、来年1月施行の延期を含め、慎重に最終判断すべきと考えるが、どうか。</p> <p>本市は、新型コロナウイルス感染症対策として、市民の個別の相談や感染に対して南丹保健所と連携して対処するとともに、感染者集団の発生に対して同保健所と共同して検査や指導の対処をしてきた。次の事項について、個人情報の保護に配慮して、答弁を求める。</p> <p>(1) 同保健所との個別の対処や共同の対処の経験から、感染者集団の発生場所や類似の場所に対する指導・支援について、どのような教訓を得て、今後はどう生かすのか。</p> <p>(2) 同保健所との個別の対処や共同の対処の経験から、同保健所と本市との連携について、どのような教訓を得て、今後はどう生かすのか。</p> <p>(3) 当面、同保健所との連携強化のために、同保健所の態勢強化とともに、例えば同保健所の感染症対策部門等の分室的な機能を本市域内に設けることを求めているかどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
		<p>3 新型コロナウイルス感染症対策に係る中小企業支援について</p>	<p>これまで国、京都府、本市において資金給付型や需要喚起型の支援施策を実施している。今後も同感染症の影響が続くことを想定すると、検査と医療の体制の整備を前提とし、感染防止型の事業活動の回復を支援することが重要である。支援施策の成果を検証し、今後の課題について問う。</p> <p>(1) 本市の「休業要請対象事業者支援給付金」（京都府制度の上乗せ）、「出前でうちメシ応援」、「そとメシ・お買い物応援」、「エンジョイ湯の花温泉」、「保津川下り半額船」の各キャンペーン等のこれまでの成果をどう評価し、今後の方針をどう考えるのか。</p> <p>(2) 国等の給付金等は重要な役割を担い、持続化給付金は商工業とともに医療・福祉等の事業者も対象になる。その「前年同月比で事業収入が50%以上減少した月がある」との要件の緩和を求めているかどうか。あるいは緩和した部分の本市独自の制度を創設してはどうか。</p> <p>(3) 業界の感染防止ガイドラインの普及を促進し、感染防止型の事業展開を支援するため、助成金等の利用を促しつつ、経営改善の支援</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>4 本市における医療・福祉の事業の現状と課題について</p>	<p>(商工施策)と感染防止の支援(保健施策)を、関係団体との連携を含め、一体的に推進することが必要であると考え、どうか。</p> <p>本市における「医療・福祉」(産業大分類)は、民営の事業所数250、従業者数4,522人で、製造業(同352、5,722人)、卸売業・小売業(同746、5,717人)に次ぐ従業者数の規模であり、中分類・小分類の内訳は次の通りである。その現状と課題について問う。</p> <table border="1" data-bbox="651 533 1217 1010"> <thead> <tr> <th></th> <th>事業所数</th> <th>従業者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(大分類) 医療・福祉</td> <td>250</td> <td>4,522</td> </tr> <tr> <td>(中分類) 医療業</td> <td>162</td> <td>2,298</td> </tr> <tr> <td>(小分類) 病院</td> <td>4</td> <td>1,105</td> </tr> <tr> <td>(小分類) 診療所(一般、歯科)</td> <td>85</td> <td>942</td> </tr> <tr> <td>(小分類) 療術業</td> <td>64</td> <td>175</td> </tr> <tr> <td>(小分類) その他</td> <td>9</td> <td>76</td> </tr> <tr> <td>(中分類) 社会保険・社会福祉・介護事業</td> <td>88</td> <td>2,224</td> </tr> <tr> <td>(小分類) 児童福祉事業</td> <td>15</td> <td>551</td> </tr> <tr> <td>(小分類) 老人福祉・介護事業</td> <td>53</td> <td>1,304</td> </tr> <tr> <td>(小分類) 障害者福祉事業</td> <td>16</td> <td>262</td> </tr> <tr> <td>(小分類) その他</td> <td>4</td> <td>107</td> </tr> </tbody> </table> <p>(資料) 令和元年版亀岡市統計書 平成28年経済センサスー活動調査 (注記) 小分類の「その他」は上記以外の合計。ここでは数値の詳細な事情にこだわらない。</p> <p>(1) 上記の小分類の民営事業所に対する開設の許認可等、運営の指導や支援は、概ね京都府の所管が多いが、本市は概ねどのように関与しているのか。</p> <p>(2) 上記の小分類の民営事業所に対する所定の報酬等の支払いのほかに、公的な支援施策は概ねどのような状況であり、本市は概ねどのように関与し、課題をどう考えるのか。</p> <p>(3) 支援施策の一環として人材確保を支援するため、人材の募集・育成、処遇の改善等について、国や京都府に対する要望を含め、どのような支援策を考えるのか。</p>		事業所数	従業者数	(大分類) 医療・福祉	250	4,522	(中分類) 医療業	162	2,298	(小分類) 病院	4	1,105	(小分類) 診療所(一般、歯科)	85	942	(小分類) 療術業	64	175	(小分類) その他	9	76	(中分類) 社会保険・社会福祉・介護事業	88	2,224	(小分類) 児童福祉事業	15	551	(小分類) 老人福祉・介護事業	53	1,304	(小分類) 障害者福祉事業	16	262	(小分類) その他	4	107	<p>市長 所管部長</p>
	事業所数	従業者数																																						
(大分類) 医療・福祉	250	4,522																																						
(中分類) 医療業	162	2,298																																						
(小分類) 病院	4	1,105																																						
(小分類) 診療所(一般、歯科)	85	942																																						
(小分類) 療術業	64	175																																						
(小分類) その他	9	76																																						
(中分類) 社会保険・社会福祉・介護事業	88	2,224																																						
(小分類) 児童福祉事業	15	551																																						
(小分類) 老人福祉・介護事業	53	1,304																																						
(小分類) 障害者福祉事業	16	262																																						
(小分類) その他	4	107																																						
<p>14</p>	<p>平本 英久 9月9日(水) 16:30~ ※一問一答</p>	<p>1 有害鳥獣等の被害対策について</p>	<p>農業従事者を苦しめているイノシシやシカ、サル等の有害鳥獣や農業害虫(ジャンボタニシ)による農作物への被害や熊による人的被害について問う。</p> <p>(1) 近年の有害鳥獣による農作物への被害状況は、どのように推移しているのか。</p> <p>(2) これまでの有害鳥獣の駆除や捕獲に取り組んできた成果は。</p> <p>(3) モデル地区として、地域ぐるみで有害鳥獣駆除に取り組まれている王子区について、本市での検証結果は。</p>	<p>市長 所管部長</p>																																				

		<p>2 震災や風水害等の災害対策や対応のあり方について</p>	<p>(4)全国的にも熊による被害等が報告されており、本市でも熊の出没が確認されているが、どのような対策を行っているのか。</p> <p>(5)ジャンボタニシによる農作物への被害状況を把握しているのか。</p> <p>(6)ジャンボタニシの駆除などについて、今後どのように取り組んでいくのか。</p> <p>災害時には、多岐にわたる災害対応や災害復旧等の必要性があり、生命の安全とともに、さらに防疫等も考える必要があるが、今後の災害対策について問う。</p> <p>(1)新型コロナウイルス感染症も懸念される中、自宅での垂直避難や車中泊避難など、分散避難のあり方についてどのように考えているのか。</p> <p>(2)災害対策本部の設置に際して、対策本部長である市長の身の安全確保と円滑なオペレーションをどのように行うのか。</p> <p>(3)緊急性を伴う公的施設の災害復旧を行う場合は、どこの所管がどのような工程で行っているのか。</p>	<p>所管部長</p>
		<p>3 ポイ捨て等禁止条例施行後について</p>	<p>議員提案によるポイ捨て等禁止条例が、令和2年8月1日に施行されたが、本条例を運用しての環境政策について問う。</p> <p>(1)ポイ捨て等禁止条例施行後は、どのような周知啓発を行っているのか。</p> <p>(2)現在行っている漂流ごみのモニタリング調査の状況と分析結果は。</p> <p>(3)ポイ捨て防止重点地域が指定されているが、指定後の成果や現状は。</p> <p>(4)環境先進都市を目指す本市は、どのような未来像を描き、今後どのような取組みを進めていくのか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
		<p>4 移住・定住促進事業のあり方について</p>	<p>本市では、従前より移住・定住促進を精力的に行っているが、今後の事業推進について問う。</p> <p>(1)移住・定住促進のために、交流人口の増加を目指してきたが、新型コロナウイルス感染症の影響はあるのか。</p> <p>(2)人口増と人的資源の確保を目指す本市では、移住・定住促進事業の今後のあり方をどのように考えているのか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
		<p>5 子育て世代の支援体制強化について</p>	<p>これまでも本市では、子どもの貧困対策や児童虐待に対して精力的に取り組んできているが、子育て世代の支援体制強化について問う。</p> <p>(1)新型コロナ禍の中で、児童虐待の現状は。</p> <p>(2)児童虐待や子育て世代の孤立を防止するためのサポートや新たな取組みを考えているのか。</p>	<p>所管部長</p>

15	<p>竹田 幸生 9月10日(木) 10:00~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 亀岡市高野林・小林土地区画整理事業について</p> <p>2 ジャンボタニシ（スクミリンゴガイ）について</p> <p>3 史跡丹波国分寺跡について</p>	<p>亀岡市高野林・小林土地区画整理組合により、区画整理事業が約13.4haの規模で進められてきている。現在では住宅地の2次販売が行われており、住宅も20軒近く建設され、まちとして芽生え始めている。</p> <p>(1) 事業の進捗状況はどうか。 (2) 道路整備の状況はどうか。 (3) 住居表示はどのような流れで決まるのか。</p> <p>ジャンボタニシ（スクミリンゴガイ）が勢いよく繁殖し、今年は特に稲作に対する被害が見られる。農業政策は言うまでもないが、環境政策も重要である。</p> <p>(1) 環境行政として、ジャンボタニシの調査は行ってきたか。 (2) 繁殖状況はどの程度把握しているのか。 (3) 農業行政と連携した取組みが必要と考えるがどうか。</p> <p>史跡丹波国分寺跡は、平成元年「丹波NEW風土記の里」整備構想から始まり現在に至っている。「丹波国分寺」を亀岡の大きな財産（文化、観光等）として再確認を行う。</p> <p>(1) 丹波国分寺の概要（整備状況）は。 (2) 丹波NEW風土記の里整備構想の概要は。 (3) 史跡丹波国分寺跡整備基本計画（平成8年）の概要は。 (4) 史跡丹波国分寺跡整備基本計画（平成30年改訂）の概要は。 (5) 今後の整備状況は。 (6) 亀岡まるごとスタジアム構想に丹波国分寺跡整備構想も新たな要素として加わるとすれば、どのような施策が考えられるか。 (7) 今まで以上に丹波国分寺を発信する必要があるがどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
16	<p>石野 善司 9月10日(木) 10:45~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 予算執行状況について</p> <p>2 特別定額給付金の支給について</p>	<p>令和2年度は第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～の総仕上げの年であり、ターゲットイヤーと位置付けて積極的に今日まで取り組んできた。まちづくりの集大成を発信し、本市の持つポテンシャルを最大限に発揮できる好機と捉え、従来の予算計上方法等にとらわれず、「最少の経費で最大の効果」を発揮できるよう、「健康・環境・観光 多文化共生のまち亀岡 世界に誇れる環境先進都市の実現」に向け、全力を傾注し果敢に取り組むと予算編成方針で述べている。</p> <p>(1) 予算執行の取組みと進捗状況は。 (2) 月読橋球技場及び周辺整備の進捗は。 (3) 今後の課題は。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の緊急経済対策として実施された、特別定額給付金の受給申請期限が、令和2年8月25日で終了した。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>(1) 申請状況と申請率は。</p> <p>(2) 未申請世帯数は。</p> <p>(3) 申請の勧奨により、全ての希望者が申請され、給付金を受給されたのか。</p> <p>(4) 世帯給付率は。</p> <p>本市では、新型コロナ禍で出産、育児をする子育て世帯を応援するため、市独自で令和2年4月28日以降に生まれた子どもを対象に、一律10万円を給付する方針を決定した。</p> <p>(5) 受給要件は。</p> <p>(6) 受給対象者数は。</p>		
		<p>3 セーフコミュニティの推進について</p> <p>平成20年3月、本市は日本初の世界保健機関(WHO)が推奨するセーフコミュニティの国際認証を取得し、平成25年に再取得、平成30年には再々取得し、国際認証制度「セーフコミュニティ」のパイオニアとして安全で安心して暮らせるまちを目指して活動してきた。</p> <p>(1) 取得前と取得後ではどのような変化があったのか。</p> <p>(2) 安全で安心して暮らせるまちになったのか。</p> <p>(3) 市内全域でセーフコミュニティの日を定めて、セーフコミュニティの理念及び意識の醸成を図る活動をしてはどうか。</p>	市長 所管部長	
		<p>4 既存集落まちづくり区域指定制度について</p> <p>都市近郊にありながら豊かな自然環境と地域資源に恵まれた集落の地域活力や地域コミュニティの維持、活性化を図るため、市長が区域と予定建築物の用途を指定して、指定区域内で自己用住宅等の指定用途の建築物の立地(開発・建築許可)を可能とする既存集落まちづくり区域指定制度について問う。</p> <p>(1) 制度活用の際しての基本的事項は。</p> <p>(2) 制度活用対象地域は。</p> <p>(3) 指定区域の要件は。</p> <p>(4) 今後の課題は。</p>	市長 所管部長	
		<p>5 大河ドラマ「麒麟がくる」放送再開について</p> <p>大河ドラマ「麒麟がくる」のテレビ放映開始直前に、出演者の不祥事で2週間ほど遅れて放映され、コロナ禍の影響により令和2年6月7日の放映後、7月、8月は休止となったが、令和2年8月30日から放映再開となった。また、8月末までの入館者数を20万人に想定していた、京都亀岡大河ドラマ館は、目標を下げて運営を続けていく。</p> <p>(1) 京都亀岡大河ドラマ館の現状は。</p> <p>(2) 今後の課題は。</p>	市長 所管部長	
17	三宅 一宏 9月10日(木) 11:30~	<p>1 プラスチック製レジ袋の提供禁止に関する条例について</p>	<p>条例の進捗状況について問う。</p> <p>(1) エコバックの利用促進や代替紙袋を自己負担していただくことについて、市民への周知方法と周知状況は。</p>	市長 所管部長

<p>※一問一答</p>	<p>2 環境行政について</p> <p>3 ごみの資源化について</p> <p>4 公共スペースの喫煙対策について</p> <p>5 亀岡市シェアサポーターについて</p> <p>6 新型コロナウイルス感染症に関する人権の配慮について</p> <p>7 亀岡市のスポーツ施設の利用料金について</p>	<p>(2) 市民に対して、市の施策と国が実施するレジ袋有料化施策との違いを周知できていないと考えるがどうか。</p> <p>(3) 来訪者に向けた啓発の取組みは。</p> <p>(4) プラスチック製レジ袋の在庫対策は。</p> <p>(5) 事業者を監視する職員を配置するのか。</p> <p>(6) 代替紙袋共同購入の業者説明会で提示された計画は説明不足であると考えがどうか。</p> <p>(7) 代替紙袋の共同購入のとりまとめは、どこが主体となって行うのか。</p> <p>(8) 事業者が独自で仕入れる代替紙袋も共同購入と同じ補助率にしてはどうか。</p> <p>(9) 紙袋の販売業者は決定しているのか。</p> <p>(10) 附帯決議の中で、社会的な諸状況を勘案して施行期日の延期も検討することとしているが、現在の考えは。</p> <p>ポイ捨て等禁止条例について問う。</p> <p>(1) 重点地域にごみ箱を設置してはどうか。</p> <p>(2) ポイ捨て等禁止指導員の配置と過料の徴収対応は。</p> <p>埋立てごみ中間処理事業について問う。</p> <p>(1) 埋立てごみ中間処理事業によって想定される削減率は。</p> <p>公共スペースの喫煙場所について問う。</p> <p>(1) JR亀岡駅に設置する喫煙ブースの設置スケジュールは。</p> <p>(2) 亀岡市庁舎に密閉型の喫煙ブースを設置する計画はあるのか。</p> <p>(3) JR各駅に喫煙ブースを設置する計画はあるのか。</p> <p>(4) 公共施設の喫煙場所についての考え方は。</p> <p>亀岡市が管理者となっている亀岡市シェアサポーターについて問う。</p> <p>(1) どのような取組みか。</p> <p>(2) シェアされた方が掲載した記事のチェックはどのように行うのか。</p> <p>(3) シェアされた方が掲載した記事のうち、掲載に適さないと判断された記事は削除するのか。</p> <p>新型コロナウイルス感染症が感染拡大している中、ソーシャル・ネットワーク・サービス(SNS)を中心として誹謗中傷が多くある。</p> <p>(1) 誹謗中傷への対策は。</p> <p>亀岡市のスポーツ施設の利用料金について問う。</p> <p>(1) 亀岡市のスポーツ施設の利用料金は。</p> <p>(2) 利用申込みは、いつから行うことができる</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
--------------	---	---	---

			か。 (3) 亀岡市民は優先的に利用することができるか。	
18	菱田 光紀 9月10日(木) 13:15~ ※一問一答	1 市長の政治姿勢について	人口減少社会の中で、環境、福祉、産業振興など多岐にわたる課題を克服しながら、持続可能な安定したまちづくりを進めなければならない。特に、人口減少と高齢化社会の中での取組みと、新型コロナウイルス感染症対策を打ちながらの施策が重要になってくる。 (1) 新型コロナウイルス感染症対策により、地域コミュニティの中心であった夏祭りや文化祭、神社の秋祭りが中止となる中、希薄化しつつある地域コミュニティのあるべき姿とはどういったものとするか。 (2) 新型コロナウイルス感染症対策のために、高齢者の居場所がなくなっている。新たな感染症等が発生するたびに、こういったことは起こるだろう。市街地などの空間に市民が気楽に使用できる交流スペースを作ることで、こういった課題が解決できると思うが市長の所見は。 一方で、人口減少社会の中で若年層の定着に向けた取組みが必要である。小・中学生がふるさと亀岡の素晴らしさを知る体験を通して、亀岡に住み続けたいと思ってもらえる取組みも重要であり、あわせて市外から亀岡に来てくれる京都先端科学大学の学生にも、亀岡の素晴らしさを知ってもらい、住んでもらえるような取組みも必要と考える。 (3) 地域の祭りなどを通して「とかいなか亀岡」を知ってもらうことをさらに進めるべきと考えるが市長の所見は。 (4) バイオ環境学部、工学部があることから、関連産業との連携を図りつつ、関連企業への就職を通して市内に定住してもらえる取組みもできるのではと考えるが市長の所見は。	市長 所管部長
		2 ふるさと納税の取組みについて	本市のふるさと納税は毎年増加し、返礼品を取り扱っている事業者も成果を上げていると聞く。新型コロナによって行動制限がある中で、高齢者に向けた亀岡市ならではのアピールでさらなる寄附金増を図るべきと考える。 (1) 寄附者の年齢層は把握できているか。 (2) 特定の世代に、その世代にあわせたDMなどでのアピールはできているか。	市長 所管部長
		3 校区の取組みについて	小・中学校の学校規模適正化について、これまでも一般質問で取り上げてきた。つつじヶ丘小学校開校により、小学校区は亀岡小学校区からつつじヶ丘小学校区に変更となり、中学校区は従前の亀岡中学校へ通う地域の課題について問う。 (1) 亀岡中学校に通うべき小学校とはどこか。	市長 教育長 所管部長

			<p>(2) 校区を決定する際に考慮すべき事項は何か。</p> <p>(3) 校区のねじれた状況があるべき形に修正すべきと考えるがどうか。</p>	
19	<p>赤坂マリア 9月10日(木) 14:00~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 新型コロナウイルスについて</p> <p>2 災害対策について</p> <p>3 環境問題について</p>	<p>新型コロナウイルスの第2波も始まり、まだまだ収束のめどがたたない今、亀岡市としてどのような3密対策等を行っていくのか。</p> <p>(1) 今後の景気対策として、亀岡市の経済を回復させるためには、いろいろなイベント等を行政が進んで行うべきではないのか。</p> <p>令和2年7月豪雨は、九州・中部・東北地方をはじめ、広範な地域において多くの人命や家屋への被害のほか、ライフライン、地域の産業等にも甚大な被害をもたらした。</p> <p>(1) 亀岡でも各方面で被害が出ており、西別院町万願寺大堂では、10トンダンプ150台分の土砂が民家に流れ込んだ。亀岡市として、災害にあった住民に対して、補助金を出すことになったが、被害発生から補助金が支払われるまでの過程は。</p> <p>(2) 「亀岡市土砂災害応急復旧等支援事業制度の概要(案)」で明記されているのは、豪雨による被害への支援であるが、その他の積雪・風害・地震などへの対策・支援をどのように考えていくのか。</p> <p>(3) 平成30年の台風第21号の災害被害の復旧がまだ完了していないが、現状と今後の対策は。</p> <p>(4) 地球環境が変わり、今後も災害が起きやすいとされるなか、地域ごとの特性を踏まえつつ、被災地域住民の生活の再建に向けた取組みを早急かつ迅速に行う必要がある。現在、市長が未来の亀岡のために推進している霧の芸術祭などをはじめとするSDGsへの取組みをさらに加速させるためにも、関係機関が一体となって行う、亀岡市独自の「持続可能な包括的な支援パッケージ」が必要であると考えるが所見は。</p> <p>環境問題について問う。</p> <p>(1) 今年の3月、6月議会で質問した雑水川上流における山積みのごみ問題について、進捗状況は。</p> <p>(2) 庁舎1階中庭での喫煙スペース計画はどうなっているのか。</p> <p>(3) 令和2年8月から開始したエコトピアの中間処理、埋立てごみの資源化について、進捗状況は。</p> <p>(4) 一時事業の委託ではなく、環境先進都市を掲げている亀岡市にとって、将来に向けてのシステムづくりはできているのか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>4 公共交通について</p> <p>公共交通について問う。</p> <p>(1) ふるさとバスの今年度、現時点での運営状況は。</p> <p>(2) ふるさとバスの過去3年間の経営状態は。</p> <p>(3) ほとんど乗られていないふるさとバスの路線について、今後の方針は。</p> <p>(4) ふるさとバスを多くの市民に利用してもらうための取組みや計画は。</p> <p>(5) 新型コロナウイルス感染症で大きなダメージを受けている亀岡市のタクシー事業者は、売上げの低下で経営存続自体が非常に困難な状況にあり、徹底的な経費削減に注力しても間に合わない状況である。京都府下ではすでに2社が廃業し、3社が倒産寸前である。本市でも緊急対策が必要であると思うが、所見は。</p> <p>(6) 昼間のバスの本数削減や利用者の少ない路線を廃止して、タクシー会社を公共交通に導入し、バス・タクシーを連携事業として活用してはどうか。</p> <p>(7) 亀岡市として地域のデマンド交通をどのように考えているのか。また、今後の取組みは。</p> <p>(8) 交通のプロである、タクシー事業者を本市の公共交通の一部に取り入れてはどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
		<p>5 保育所の園舎老朽化について</p> <p>保育所の園舎老朽化について問う。</p> <p>(1) 令和元年6月議会で、三宅議員が「第六保育所の施設全体の汚れがひどい」との質問をしたが、その後の進捗は。</p> <p>(2) 市立保育所の中でも第六保育所の園舎は、非常に老朽化が進み、しみ・ひび・さび・傷などがあるが、今後の対応は。</p> <p>(3) 第六保育所の調理室や洗面所、トイレ等の衛生管理の取組み状況は。</p> <p>(4) 園舎の整備や管理メンテナンスについて、今後の方針は。</p> <p>(5) 市立保育所の民間への売却等の考えは。</p> <p>(6) 園舎の周辺には草が生茂り、夏になるとマムシが出てくるが、事故が起こればどのように対処するのか。</p> <p>(7) 0歳から5歳までの子育て環境づくりは非常に大切であり、色彩力や情緒を育むことが重要であると思うが所見は。</p>	<p>市長 所管部長</p>
20	<p>大塚 建彦 9月10日(木) 15:00~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 京都・亀岡保津川公園の活用について</p> <p>サンガスタジアムの前予定地は、京都・亀岡保津川公園として整備中であり、現在、公園の外周部分は、農事組合法人ほづが管理し、米の生産を行っている。過去のワークショップや提言の内容を踏まえ、公園の今後の運営方針について問う。</p> <p>(1) 都市公園としての全体の計画内容は。</p> <p>(2) 計画の進捗状況は。</p> <p>(3) 霧の芸術祭の重要なテーマでもある、有機農業(オーガニック栽培)の拠点として運用</p>	<p>市長 所管部長</p>

		を検討できないか。	
2	地域ブランド農産物の認定制度について	<p>亀岡市は霧の芸術祭の中で、環境やアユモドキ等の生態系に配慮した農法に取り組む農家の奨励や、地域ブランド農産物などの、認定制度を設けることにより、亀岡産農産物の付加価値の向上を図り、農業コミュニティの維持拡大を図るとしている。</p> <p>(1) 環境に配慮した農法とは。</p> <p>(2) 地域ブランド農産物の認定制度とは。</p> <p>(3) 現在、有機JASやエコファーマー認定制度など既存の制度がある。亀岡市が独自に創設予定の、健康や環境保全の観点から作られる、独自の地域ブランド農産物の認定基準はどのようなものか。</p>	市長 所管部長
3	サンガスタジアムの障がい者就労支援について	<p>令和2年6月議会で、サンガスタジアムにおいて障がい者がスタッフとして参加できる環境の実現について質問した。所管部長は、「京都サンガF.C.としては「現時点では、受け入れということまでは行っていない。」という回答であるが、指摘は非常に重要なことだと認識している。」と答弁された。</p> <p>(1) 亀岡市は、障がいがある方とない方が互いを尊重し、理解を深めながら、協働できる場の提供(障がい者就労支援)という観点から、サンガスタジアムに限らず、大型商業施設や駅前商業施設などを障がい者の雇用モデル施設として推進すべきと考えるがどうか。</p> <p>(2) 東京大学先端科学技術研究センターの「超短時間雇用モデル」についての見解は。</p> <p>(3) 市長が目指される、ダイバーシティ(多様性を認め合う社会)とは。</p>	市長 所管部長
4	境川砂留施設工事の進捗状況について	<p>境川の砂留施設の建設について問う。</p> <p>(1) 亀岡市が担当する当該施設における排水路建設などの計画及び予算計上についての考えは。</p> <p>(2) 今後の進捗に向けて、亀岡市及び地元が解決すべき課題は何か。</p> <p>(3) 近年は、異常気象に伴い、自然災害が頻発しているが、境川の砂留施設完了後に施工を予定されている旭町美濃田の本郷地区と、千歳町小口地区にまたがる北谷川の砂防堰堤、排水路の施工時期についての考えは。</p> <p>(4) 旭町からだけでなく、千歳町からも早期事業実施に向けて、亀岡市に要望が出ているが、令和3年度予算に調査費を計上してはどうか。</p>	所管部長
5	旧城下町地区の街並み整備について	<p>令和2年度の地域こん談会において、亀岡地区中部自治会より提出された要望事項に対し、所管部から、城下町エリアでの電線類地中化を検討す</p>	市長 所管部長

			<p>ると回答があったが、実現には、地元住民の全面的な協力などが不可欠であり、一定時間を要する と考える。</p> <p>(1) 亀岡祭山鉾巡行時に、支障となる電柱上の架線の迂回は、令和3年度の亀岡祭で実現する のか。</p> <p>(2) 古い町並みを保存継承するため、城下町地 域内外の、空き家や町家の利活用について、 亀岡市独自の助成制度を創設する考えは。</p>	
21	<p>小松 康之 9月10日(木) 15:45~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 市長の政治 姿勢について</p> <p>2 亀岡市のシ ティプロモーシ ョンについて</p> <p>3 移住・定住 対策について</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない 状況の中、今後の市政運営はウィズコロナと向 き合うことが重要となる。また、今年度予算執行 や第5次亀岡市総合計画の策定にも大きく影響 するものとする。</p> <p>(1) V字回復が望めないのであれば、今後どの ような市政運営を進めていくのか。</p> <p>(2) 亀岡市新型コロナウイルス感染症対策本部 の構成員は。</p> <p>(3) 今後、外部と連携（官民連携）した体制づ くりを考えていくべきだと思うがどうか。</p> <p>(4) 本市ホームページでの「新型コロナウイルス 感染症の確認に関する市長コメント」が7 月13日を最後に更新されていない理由は。</p> <p>今や本市もコロナ禍以前の状況と大きく変化 した。6月議会でシティプロモーション担当室長 からブランディングの答弁があった。ブランディ ングの実施には、「環境分析」「ブランドアイデ ンティティを決める」「可視的メディアに落とし 込む」という3つの段階があると言われる。本市 のブランディングについて問う。</p> <p>(1) ウィズコロナにおけるシティプロモーシ ョンをどのように進めていくのか。</p> <p>ウィズコロナでテレワークは一定定着した。本 市はさまざまな点で、職住一体に適した地域であ る。また、コロナに関係なく、若者の田舎志向が 高まっているという実態もある。</p> <p>(1) テレワークしやすい環境整備の検討は進ん でいるのか。</p> <p>(2) テレワーク移住希望者に向けた情報発信の 進捗状況は。 これまでの移住・定住関係イベントについて問 う。</p> <p>(3) 参加者の動向は。</p> <p>(4) テレワーク移住希望者の参加はあったの か。 新しい企画について所見を問う。</p> <p>(5) インターネット環境完備のコワーキングス ペースやシェアオフィスで、テレワーク移住 体験などの企画は考えられないか。 本市のホームページの移住・定住サイトについ</p>	<p>市長</p> <p>所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>4 学校教育について</p>	<p>て問う。</p> <p>(6) 不動産情報が大きく表示されているが、移住希望者の欲しい情報が不足しているのではないか。</p> <p>(7) 行ってみたい、住んでみたいと思わせる工夫が必要だが、更新予定はあるのか。</p> <p>本市でも児童生徒の感染者が出るなど、学校現場では緊張が続いている。学習の遅れは、夏休みの短縮や授業時間数増などで対応しているが、今後は台風や冬のインフルエンザなどで休校することも考えていかなければならない。</p> <p>(1) 学校の状況と教員や子どもたちの負担軽減について問う。</p> <p>① 修学旅行の取りやめに伴うキャンセル費用は。</p> <p>② 修学旅行代替案は、各校の判断に任せるのか。</p> <p>③ 熱中症予防や事故、犯罪防止のため、登下校時の持ち物軽減が必要だと思う。児童の「置き勉」について課題も含めた見解は。</p> <p>④ 教員の負担軽減になるスクールサポーター導入について、進捗状況と今後の予定は。</p> <p>⑤ スクールサポーターとして、アルバイトがなくなった大学生を雇用することは可能か。</p> <p>⑥ 配膳時の教員の負担軽減に関して、小学校給食時にお盆は使われているのか。</p> <p>⑦ コロナ禍前後の給食配送車の発着時間は。</p> <p>⑧ スクールカウンセラーに相談するなど、教員や子どもたちのメンタルヘルスの状況は。</p> <p>(2) ICT教育環境について問う。</p> <p>① これまで学校が地域イントラネットを利用した取り組みとして、どのようなものがあるのか。また、現在も活用しているのか。</p> <p>② 本市のICT教育環境整備の必要性とは。</p> <p>③ ICT教育環境整備の進捗状況は。</p> <p>④ まず、ICT教育ビジョンの策定が必要だが、進捗状況は。</p>	<p>教育長 所管部長</p>
--	--	-------------------	---	---------------------